

災害に打ち勝て！ 湛水から守る守護神

～部屋南部地区(栃木市藤岡町石川)～

[概要]

石川排水機場は、団体営かんがい排水事業により昭和23年に造成、昭和28年にポンプの増設が行われました。その後、昭和47年度の河川改修事業により現在の位置に移設されました。

当初の排水機場造成から60年以上が経過し、施設の老朽化により排水機能が低下しているため排水機場の改修を計画しています。



(石川排水機場の全景)

[事業内容]

- ・ 受益面積：142ha(水田135ha 畑7ha)
- ・ 工期：H30(2018)～R8(2026)年
- ・ 事業内容：排水機場
- ・ 総事業費：26億
- ・ 作付作物：水稻、二条大麦、ねぎ、ニラ、たまねぎ

問い合わせ先 農地整備課:028-623-2360
下都賀農業振興事務所:0282-23-3428

[地区の現況]



(60年以上稼働しているポンプ)



(機場に発生したひび)

[受益者の声]

(藤岡土地改良区 田熊理事長)



2台あるポンプは老朽化により排水能力が半分程度になってしまいました。建屋や吐水槽もひびが発生してきており、施設全体の老朽化が進んでいるため、維持管理にも支障をきたしています。

平成27年度の豪雨災害のような湛水被害を防ぐためにも排水機場の更新を望んでいます。

[地区解説図]

